

2006年6月15日

ユニセフ＊コープ ネットワーク

ぽむ・ぽむ通信

No. **32**

（財）日本ユニセフ協会広島県支部が誕生しました！



写真①川上小学校ワークショップ
「水運びって大変。紙袋も作ったよ！

昨年10月17日に設立発起人会が立ち上がり、お知らせと会員拡大に奔走すること4ヶ月余り。ついに今年3月6日に設立大会を開催することができました。設立発起人会発足後は、県内の皆さんにユニセフの活動を知っていただくためのポスター展や国際交流イベントへの出展、会員拡大、ボランティア募集と養成講座の開催、講師要請への対応とめまぐるしく取り組んできました。その中でも特に重要な課題となったのが会員拡大。昨年9月末で116名しかいなかった会員を、設立後の県支部の運営予算を確保するため300名にまで増やすことを目標に取り組むことになり、募集と共に県内の諸団体・企業の訪問を重ねてきました。

そして迎えた3月6日。結局300名の目標は達成できませんでしたが、3月末には会員数298名にまでこぎつけることができました。引き続き会員拡大にも力を入れて、県支部の財政基盤を確立するだけでなく、子どもの権利を中心に据えるユニセフの理解者・支援者を増やしていきたいと思っています。



県支部設立後はボランティア組織も発足し、ニュース発行、ラブウォーク～ヨガ編、ひろしまフラワーフェスティバルへの出展、ラオス報告会と活動をすすめています。生協をはじめとする地域の諸団体の皆さん、県内のボランティア活動・国際援助活動にたずさわっている先輩の方々に助けられて活動をすすめることができます。今後も県内の幅広い方々との連携を大切にしていきます。

写真②4月に開催したラブウォークヨガ編～ヨガ体験のあとワークショップで私たちができることを考えました。

この間お世話になった広島県生協連合会をはじめとする県内の生協の皆様にお礼を申し上げます。そして今後もよろしくお願いいたします。広島県支部では世界の子どもたちの現状やユニセフの活動を知っていただく企画をこれからも予定しています。ぜひご参加ください。そして私たちと一緒に、世界の子どもたちのために活動してみませんか。

(財) 日本ユニセフ協会広島県支部 小都妙子



写真③5月3日～5日、ひろしまフラワーフェスティバルに出展し、たくさんの方に立ち寄っていただきました。

今後の活動予定

★ユニセフ写真展「今、アフリカで起きていること」

と き：6月22日(木)～6月27日(火) 10時～17時

ところ：広島市アステールプラザ

★ユニセフキッズフォーラム（日本生協連、広島県生協連と共催）

と き：8月5日 10時～11時30分

ところ：広島YMCA

<お問い合わせ先>

(財) 日本ユニセフ協会広島県支部

広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4階

TEL：050-3036-9055

FAX：082-302-3850

MAIL：unicef-hiroshima_06@theia.ocn.ne.jp

ジャワ島中部地震について、全国の生協からの支援が広がっています。



5月27日に発生したインドネシアのジャワ島中部地震では、ユニセフの支援として緊急物資が被災者のもとに届けられるとともに、初期に行われたニーズ調査に沿って、水と衛生、子どもの保健、教育の分野で支援が行われました。

全国の生協においても、直ちに緊急募金活動が開始されました。店舗ではサービスカウンターやサッカー台に募金箱が設置されました。また、共同購入・個配ではOCR注文用紙や募金封筒による募金が行われました。

地域にある災害支援を行っているボランティア組織やユニセフ協会の県支部に対して募金を行ったり、独自にチラシを作成して組合員に呼びかける事例も見受けられました。

被災地の復興はこれからになりますが、今後も全国からの温かい支援をお願いします。

コープえひめの店舗に設置された募金箱。

「エイズは大人だけの問題じゃない」～子どもたちをHIV/エイズの脅威から守るために～

2006年5月23日（火）に開催されたシンポジウムでは、小雨の降る中、高校生や大学生などを含む大勢の参加がありました。その中での報告やパネリストの方々のお話をご報告します。

第一部：基調報告

I—ユニセフ本部エイズキャンペーン責任者ピーター・マクダーモット氏からの報告

—『エイズ対策から置き去りにされた子どもたち』

HIV/エイズが確認されてから20年余り、エイズは大人の病気であるという認識のために、長い間子どもたちはHIV/エイズの感染予防・治療などへの取り組みの外に置き去りにされてきました。HIVに感染している子どものうち、適切な治療を受けられる割合は5%に達しません。HIV/エイズが子どもたちに与える影響を認識し、次の世代の子どもたちがHIV/エイズの脅威におびえずに生きられるように、「今、ここから」行動を起こすことが大切です。

II—アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使からの報告—『アフリカ・レソト王国；エイズ孤児たちの現実』



©日本ユニセフ協会

レソト王国は国境を南アフリカ共和国に囲まれた、人口180万人の小さな国です。山々に囲まれたこの美しい国で、HIV/エイズは静かに、しかし確実にレソトの人々の命を奪っています。国民の約4分の1がHIVに感染しており、そのために、1991年に60歳だった平均寿命が、現在は35歳になってしまいました。レソトの人々は、国内に職がないために、国境を接する南アフリカ共和国に出稼ぎに出ています。しかし、それはレソトに収入だけではなく、招かざる客、HIVをも運んできています。訪問したモホトロング県モホトロング市から車で40分程のボバツィ村では、親を亡くし子どもだけで生活するエイズ孤児が置かれている厳しい現状を知り、ひどく心が痛みました。両親を亡くし二人で暮らしている幼い姉弟は、レイプの被害に遭うことや村の外に捨てら

れることを恐れて、夜自分達の家で寝ようとしません。このように、エイズ孤児は親だけでなく安全に生活できる場所をも失っているのです。また、ボバツィ村ではHIV/エイズに関する激しい偏見の存在と診療所が遠すぎることで、HIV/エイズの検査・治療を妨げているといいます。

第二部：パネルディスカッション

報告に続いて行われたパネルディスカッションでは、4人のパネリストから次のような意見がだされました。

● **ユニセフ・エイズ対策事業担当官の大井佳子氏** HIV/エイズに対する偏見が、現場での予防・治療への支援活動を困難にしています。例えば、母子感染を防ぐためには、母乳ではなく粉ミルクで赤ちゃんを育てることが重要です。しかし、供給された粉ミルクを持って診療所からでるところを見られると、HIV感染者であることがばれて差別されてしまうような環境では、HIV感染者の母親への粉ミルクの供給がうまくいかず、母子感染を防ぐことが難しくなります。

● **（財）エイズ予防財団会長の島尾忠男氏** 日本でもHIV感染者は増加傾向にあり、若者の間で無防備な性的活動の傾向が見られます。検査体制やエイズに関する正しい知識を身につけることが大切です。

● **（財）日本ユニセフ協会副会長 東郷良尚氏** アフリカでの悲惨な状況が伝えられる中で、私たちはHIV/エイズの問題を「海の向こうの出来事」という風に受けとめてしまいがちです。しかし、日本人観光客も多く訪れる東南アジア諸国でも若年者の買春などが原因で、HIV/エイズは拡大傾向にあるのです。

● **マクダーモット氏** 日本の皆さんがHIV/エイズの脅威を取り除くためにできることは、エイズに対する偏見をなくし、HIV/エイズに関する正しい知識を身につけて、それを他の人と共有すること。そして、子どもたちがエイズ対策の枠の外に置かれていることをメディアや政治指導者に訴えていただければと思います。

（日本ユニセフ協会インターン：福田、レイアウト：尾澤結花）

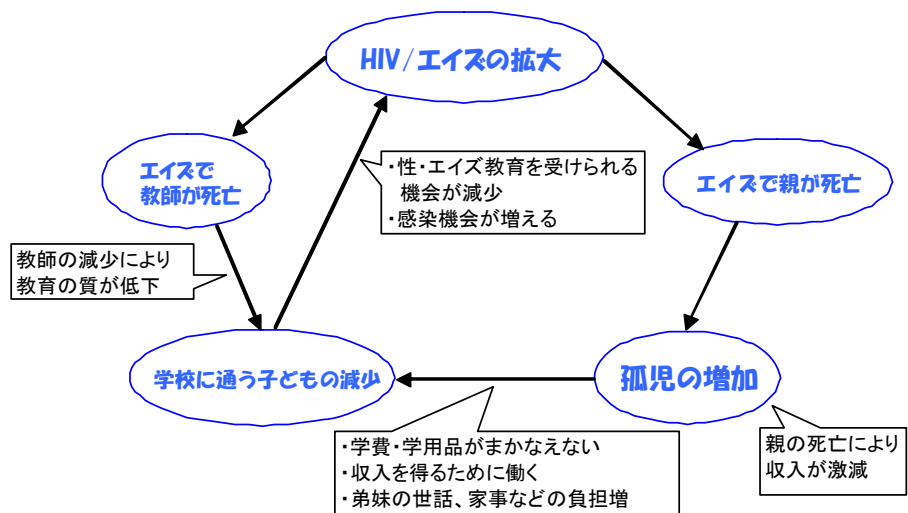
“UNITE FOR CHILDREN UNITE AGAINST AIDS（子どもたちのために エイズと闘おう）”を合言葉に、ユニセフ協会が展開している「子どもとエイズ」世界キャンペーン。ぼむぼむ通信でも、HIV/エイズの脅威から子どもたちを守るために、自分たちにできることを考え、アクションを起こすきっかけにしたいと考え、前号より HIV/エイズについて学ぶ本シリーズをスタートさせました。第2回目は、世界で HIV/エイズが拡大している理由、女性や子どもたちに与えている影響についてご紹介します。（日本ユニセフ協会インタビュー：福田、レイアウト：尾澤結花）

Q. HIV/エイズが子どもたちに及ぼす影響は？

A. 現在世界には、子ども（15 歳未満）の HIV 感染者が 230 万人いると推計されています（UNAIDS/WHO 報告書）。HIV/エイズは子どもの主要な死亡原因のひとつになりつつあります。例えばボツワナでは、2002 年時点で、HIV/エイズが子ども（5 歳未満）の死亡原因の第一位になっており、子どもの死の約 60% は HIV/エイズによるものです。（WHO ホームページより）また、子どもが HIV に感染する主な原因として、母子感染、設備の行き届いていない施設での分娩時の HIV に感染した血液への接触、性的暴行、無防備な性的活動などがあります。

子どもたちが直接の被害者になることに加えて、HIV/エイズにより、親をなくした子どもたち（**エイズ孤児**）の問題も同様に深刻です。2003 年時点で、エイズ孤児は世界に 1500 万人、5 人中 4 人はサハラ以南アフリカに住んでいます。2010 年には 1,800 万人まで増えると推定されています。

エイズ孤児の多くは、貧困に陥り、学校に通えなくなったり、収入を得るために過酷な仕事をしなくてはなりません。また、エイズ孤児の増加は、右図のような経緯をたどって、さらなる HIV/エイズの拡大につながっていく危険性があります。



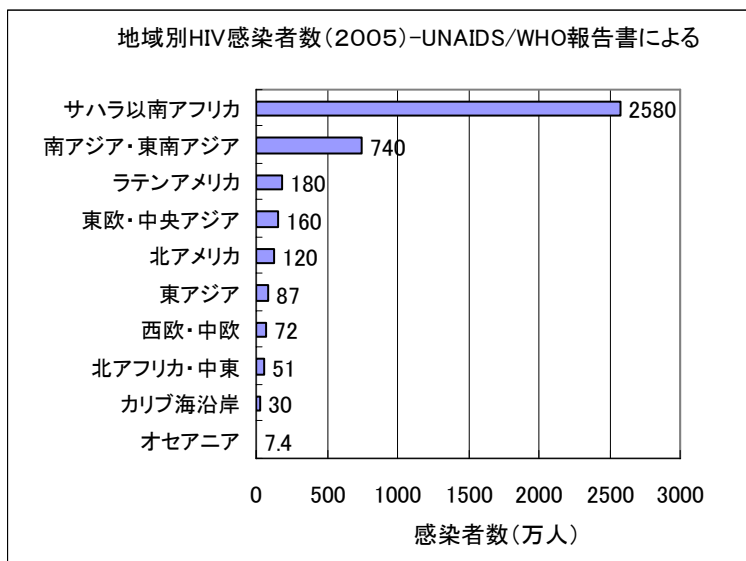
Q. 女性は男性よりも HIV に感染しやすいの？

A. サハラ以南アフリカでは、2005 年時点で、成人の HIV 感染者（15-49 歳）の 57% が女性と推計されています（UNAIDS/WHO 報告書）。女性、特に若い世代の HIV 感染者増加の背景には次のような要因が考えられます。

- ・男性に比べて身体的に HIV に感染しやすい
- ・男性に比べて、性、HIV/エイズについての知識をもっていない
- ・家庭や、学校、職場などでの性的暴行に遭いやすい
- ・女性は男性に比べて、貧困や不平等などの理由から、生活のために売買春や人身売買の被害を受けやすい。

Q. 世界に HIV 感染者はどのくらいいるの？

A. 世界でもっとも HIV 感染者が多い地域はサハラ以南アフリカで、全感染者（4030 万人）のうち 65%を占めています。



Q. HIV/エイズが急速に拡大してしまうのはどうして？

A. HIV/エイズを拡大させる要因には、次のようなものがあります。

① HIV/エイズに対する差別、偏見のせいで検査、治療、予防が進まないこと

HIV/エイズであることがわかると社会から疎外される環境では、HIV に感染しているかもしれないという疑いを抱いていても、検査を受けにくくなります。その結果、自分が HIV に感染していることに気づかないまま、性交渉などを通して、他の人に感染させてしまい、これが HIV/エイズの拡大につながっています。

② HIV/エイズに関する正しい知識の欠如

HIV/エイズという病気の実態、HIV に感染しないためにはどうすればいいかなどの知識を持っていないことは、若い世代を中心とした HIV の感染拡大につながってしまいます。

サハラ以南アフリカでの HIV/エイズについての知識保持率 (2003)

	男 性 (%)	女 性 (%)
コンドームが HIV の感染を防ぐことを知っている	68	54
見た目には健康そうでも HIV に感染している可能性がある」と知っている	68	58
HIV/エイズについての包括的な知識をもっている*	31	23

サハラ以南アフリカでは、男性の約 3 割、女性の約 2 割しか、HIV/エイズに関する包括的な知識を持っていません。また、3 項目すべてについて、知識をもっている人の割合は、女性のほうが男性に比べて低いことがわかります。

(世界子供白書 2006)

* 15-24 歳の若い男女のうち、性交渉を通じた HIV 感染を予防する 2 つの主な方法（コンドームの使用と、ひとりの忠実で HIV に感染していない相手のみと性交渉をもつこと）を認識し、HIV についての現地の誤解を否定し、健康そうに見える人でも HIV に感染している可能性があることを知っている割合

「子どもとエイズ」世界キャンペーンの詳しい内容については日本ユニセフ協会ホームページをご覧ください。
<http://www.unicef.or.jp/campaign/051025/index.html>

UNITE FOR CHILDREN  UNITE AGAINST AIDS

この国 どんな国 パキスタン・イスラム共和国

神々の時代よりの世界の十字路

多くの民族、宗教、文物が往来した

インダス川に生まれ 北に 8,000m級の山々を有する国



面積 79万 6,096km
(日本の約 2.倍)

人口 1 億 5,250 万人

公用語 ウルドゥー語

アッサラーム!! こんにちは!

パキスタン・・・「清浄な国」という意味



2005 年 10 月 8 日
カシミール地方
インド国境近く
マグニチュード 7.6
の地震発生

330 万人が住居を失い 7 万 5 千人が死亡、12 万 5 千人が負傷。緊急支援は冬にしては穏やかだった気候、人々の回復力、パキスタン政府、軍、国連機関、NGO、市民団体間のすばらしい連携もあり予想以上の成果を上げることができました。今後は自分の村に戻りつつある人々にむけ、毛布 衣服、学用品などの提供 基礎保健ユニットの設置、多くの子どもが学校に通えるよう「ウェルカム・トゥ・スクール」プログラムなどの支援活動が継続されます。

歴史

紀元前

2 6 0 0 ~ 1 7 0 0

インダス川流域に古代**インダス文明**の展開

2 大都市遺跡 **モヘンジョダロ** **ハラッパー**

1 世紀前半 タキシラのジョーリアン遺跡

西暦

1 3 0 ~ 1 5 5 クシャーナ朝最盛期 **ガンダーラ美術**興隆

7 1 2 ムハンマド ビン カースム率いるウマイヤ朝アラブ軍
シンド地方征服

1 5 2 6 バーブルが、サルタナット朝を廃し ムガル朝を確立

1 8 5 7 ~ 5 9
インド大反乱 イギリスが鎮圧 ムガル朝滅亡

1 9 4 7 パキスタンとインドと分離独立。西パキスタンと東パキスタンのとび地国家が誕生

1 9 4 8 カシミールの帰属を巡って第一次印パ戦争

1 9 5 6 パキスタン新憲法発布「イスラム共和国」を宣す

1 9 6 5 第二次 印パ戦争

1 9 7 1 第三次 印パ戦争 東パキスタンがバングラディシュとして分離独立

1 9 7 4 インドとの間に共同声明 国交正常化

1 9 7 7 ジアーウル・ハック将軍がクーデター翌年大統領に

1 9 7 9 ソ連のアフガン進攻で北西部に難民が流入

1 9 8 8 総選挙でベナジール・ブットー政権成立

1 9 9 8 パロースターンで地下核爆発実験

1 9 9 9 軍事政変により、ムシャラフ陸軍参謀長が首相を拘束
実権を握る

2 0 0 2 総選挙 議会復活

「地球の歩き方」p248 パキスタン歴史年表より 抜粋

アラカルト

カラコルム ハイウェイ(KKH)

1 9 5 8 年から中国との合同事業として始まり 2 0 年かけて完成した。世界で最も厳しい地形を切り開いた。といわれている。

ド派手なバス

とにかく 目をひくハデハデの装飾。カラフル。
このハデハデ装飾はバスだけではなく。トラックもハデハデ。ゴージャス。

リキシャー

屋根のあるオート三輪のタクシー。ドライバーは前の座席、後部座席に乘客 2 人。狭い路地などをいくのは便利。

カレーとナンとチャパティとチャイ

主食である ナンやチャパティで カレーをすくうようにして食べ、砂糖たっぷりの甘いミルクティーをいただく



世界の子ども達は今

<パキスタン>



童謡「マタリ・パチャ」を披露

大人気の当てっこゲーム

「こどもにやさしい空間」(Child Friendly Space)

子どもにやさしい空間は、1999年のコソボでの緊急事態の時に作られたコンセプトです。紛争や災害などの緊急事態下にいる子どもたちが、安全な環境で、学んだり遊んだり、精神的なサポートを受けられる場所のことをいいます。

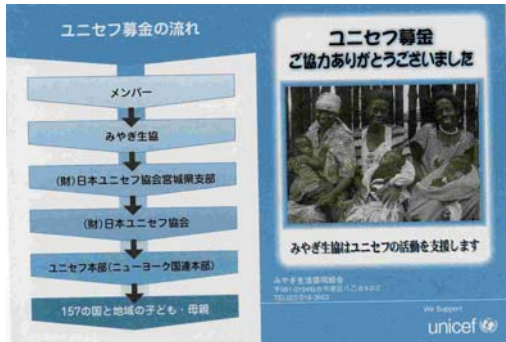
(文) 松本真弓 / (絵) 蛭沢素子

募金報告とお礼、どうしてですか？

ユニセフ募金に取り組んでいただいた方へ、その成果をどのようにご報告していますか？
いくつかの事例をご紹介します。

みやぎ生協 サンキューカード

班回覧の募金袋で募金して下さった方に、募金袋についていた領収書にかわり、サンキューカードをお渡しすることにしました。



ユニセフ(国際連合児童基金)ってなあに？

ユニセフは国連機関のひとつで、子どもの健康と未来のために、みなさんから寄せられる募金を使って、主に開発途上国で、保健、栄養、水と衛生、教育、保護、緊急支援などの仕事をしています。

(財)日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)
インターネットホームページ
<http://www.unicef.or.jp>

なぜみやぎ生協がユニセフを支援するの？

子どもの生存、発展、人権の向上をめざすユニセフの活動は、生協の「平和とくらしを守る」という基本理念と一致すること。メンバーが気軽に参加できる国際協力活動であるということから、みやぎ生協をはじめ全国の生協で広く活動が行われています。

みやぎ生協におけるユニセフ活動のおゆみ

1973年、「ベトナムの母と子のためのカンパ」
1979年、「バケツ一杯の水」を贈る運動。
1983年、現在のユニセフ宮城県支部の前身であるユニセフ募金事業推進会を設立。同年に開始。
1985年の交際設立にも大きな協力を果たしました。現在も親戚支部をサポートし、協力し合いながらメンバー活動を行っています。

・1983年から2004年までの募金総額は
391,266万円になりました！

100円でできること

- 難民に会った子どものための衛生キットなら... 3人分
- 下着で洗わなければならないおむつを洗うための洗剤なら... 13袋
- 先頭を助けるビタミンAのカプセルなら... 42錠

ちばコープ

平和のとりくみをご紹介する冊子で、スタディツアーで見たユニセフの支援活動の報告や組合員からのメッセージ、募金額を報告しています。

子どもたちがバケツ一杯の水を！ から始まったユニセフ活動

ユニセフ募金は日本生活協同組合連合会の「毎日水々々」の重宝化に由来している。開発途上国の子どもたちにバケツ一杯の水を贈ろうという呼びかけが始まりました。ちばコープの前身「ちば市民連合会」では1979年から「コープせいのり」を通じて募金活動を行い、1999年から「コープ」を通じて、誰もが参加できるユニセフ募金活動を開始しました。

被災から1年、ユニセフ募金で
子どもたちは元気に学んでいました！

「現地にユニセフのスタツツが...」

スリランカで行き届いた支援活動がされている

スリランカの子どもたち

スリランカスタディツアー(2005年10月13日～18日)

世界の子どもの生命と健康を守るために活動しているユニセフを知り、知ったことを自分たちで伝える活動を行っています。2005年はスリランカのスタディツアーに移動し、現地の様子を見学しました。

2004年12月、インドネシアのマタララを襲った大規模津波で大きな被害を受けたスリランカとインドネシアの両国は、国連児童基金(ユニセフ)と、人形劇団「ちばこ」が協賛する「小水舟」の活動で、2005年1月の活動で、子どもたちの学校で、被災した子どもたちと交流し、津波の被害を伝える活動を行いました。また、ユニセフが支援している学校で、被災した子どもたちと交流し、津波の被害を伝える活動を行いました。

毎年恒例の新年玉募金をはじめ、様々な募金活動に継続して取り組んでいます。

募金活動

2005年度
お年玉募金...419万4,623円
東ティモール指定募金...250万円
インド・インドネシア募金...60,246円
スマトラ沖地震・津波復興支援募金...512万9,189円
パキスタン地震緊急募金...692万4,371円
フィリピン地震緊急募金...47,928円
合計1,885万6,357円のユニセフ募金が集まりました。

また、ユニセフ千葉支部のボランティアの方々の協力で、店舗や地域、東葛総合委員会などで体験型の学習会、チャリティーコンサート、ユニセフ一斉募金「ハンド・イン・ハンド」などを開催しました。

募金にご協力いただいた組合員さんからのメッセージ

9歳になる娘は3年ほど前から自分のおこずかいの中から毎年募金するようにしました。1人でも多くの子どもが助かり、幸せになってほしいと思います。

安全で平和な世界に、1日でも早くするように。

ユニセフ特集。ユニセフ委員会メンバーからのメッセージやスタディツアー参加者の視察レポートとともに、一般募金や指定募金をご紹介。緊急募金は写真つきで支援報告をしています。

15-0-3-7

募金協力校にお礼のお手紙とユニセフ活動報告 2005 を一緒に送り、回覧いただきました。

おおさかパルコープ・おおさかよどがわ市民生協
B4サイズの募金をお願いチラシ裏面には、指定
募金の1年間の成果を写真とともにくわしくご報
告しました。

ユニセフ活動報告2005

ご回覧、お願いいたします

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

ユニセフ一般募金のご協力
ありがとうございました

学校生協では10月25日現在、

5,295人
1,139,560円

のご協力をいただいております。

ユニセフ募金会を回覧・集金していただきことに
ありがとうございます。

地区地区会等のご意見の中から「きちんと募金が届いて
いるのか心配です」といった声があり、学校生協では
ご協力いただいた学校へ「ご回覧いただいた募金袋」
と「御礼書」を送ってお返しする事といたしました。
お預かりした募金は日本ユニセフ協会に確実にお渡し
いたします。

お礼に送られていた金額と学校生協で実際に収めた金額に差異
がある場合があります。また、その他の（御礼書送付）は実際に送
付していただき、金額などをご確認ください。また、04年度の募金袋で
3月21日に締切された場合は2005年度一級募金分としてお振
りがかかりますのでご了承ください。

10月25日現在、学校生協では5,295人、
1,139,560円のご協力をいただいております。

Thank you!

世界の子どもたちへの
あなたにこそ支援
ありがとうございます

For every child
Health, Education, Equality, Protection
Achieve HUMANITY

unicef
1946 2004

！中面に2004年度収支報告が掲載
されています。ぜひご覧ください。

パキスタン地震は、いま…

日本ユニセフ協会は、パキスタン地震の被害を受けた子ども
たちを支援するため、200万米ドル（約2億3000万円）を
手持ち資金から緊急拠出することを決定。

一方、国連アール・1（国連200万ドル）への支援は、い
まだに10%以下に過ぎず、ユニセフに対する支援も、必要
とする6435万米ドル（約73億円）の半分以上、41%し
か寄せられていません。

厳しい冬がすぐそこまで近づいているなかで、被災者の状
況は日増しに深刻化の度を増しています。学校生協
では今冬の募金の中から一部「パキスタン地震」
へ振り替えいたします。ご理解とご協力をよろし
うお願いいたします。

[illegible]

ご報告にご活用ください

■ 写真を手に入れる

- ① コープユニセフ メーリングリストに登録いただくと、Yahoo!の機能を利用してグループのホームページから、好きな写真をダウンロードすることができます。
- ② 日本ユニセフ協会 生協担当までお問い合わせください。ご要望にあわせて E メールで写真をお送りします。
- ③ 日本ユニセフ協会ホームページ (www.unicef.or.jp) に掲載している写真は、募金のお願いやご報告などに転載していただいても結構です。

ここに注意！

➤ 写真の脇には必ずクレジット(©UNICEF...)を記載してください。

■ 一般募金の報告

- ① 日本ユニセフ協会ホームページ「皆様のご支援で」コーナーから
<http://www.unicef.or.jp/shien/index.html>
 - ② 資料から
ユニセフ年次報告 (A4冊子 約 50p) やユニセフ活動報告(100 x 195mm)でご報告しています。日本ユニセフ協会までご請求ください。
 - ③ 「全国組合員活動情報」5月号にもご報告を掲載しています。
- ご要望に応じて、E メールでの報告書もお送りいたします。ご相談ください。

■ 指定募金の報告

- ① 毎年の地連会議での資料で報告書をご提出しています。
- ② 日本ユニセフ協会 生協担当までお問い合わせください。ご要望にあわせて E メールで写真をお送りします。
- ③ 日本ユニセフ協会ホームページでも、簡単なご報告を近々掲載予定です
http://www.unicef.or.jp/partner/partner_ex2.html >生協のご協力から

■ 緊急募金の場合

日本ユニセフ協会ホームページをご覧ください。

皆様のご支援で <http://www.unicef.or.jp/shien/index.html>

緊急支援情報 http://www.unicef.or.jp/children/child_eme.html

☆ぼむぼむ通信の通算 32 号をお届けします。全国のユニセフ協力活動の交流誌としての役割はもちろん、世界の国々や子どもたちの様子も積極的に紹介していきます。また、各地の活動の参考になるような取り組みのご案内も行っています。
☆全国の活動事例や、ぼむぼむ通信の感想・ご意見をぜひお寄せください
☆次号は、9 月 15 日発行です。
お楽しみに！

ぼむぼむ広場

ユニセフ*コープネットワーク ぼむ・ぼむ通信

No.32 2006 年 6 月 15 日発行

編集 グループ ぼむ・ぼむ

スタッフ・編集／尾澤・谷杉・浜崎・福本・藤森・
松本・山本・林田・北村・茂垣

イラスト／蛭沢

発行 日本生協連 組合員活動部

〒150-8913

東京都渋谷区渋谷 3-29-8 コーププラザ 11 階

TEL03-5778-8124 FAX03-5778-8125

ホームページ <http://www.jccu.coop/>